

学科練習問題 フォークリフト

※下記問題は練習問題であり、学科試験と同一ではありません。

また、当センターの学科試験においても、下記のようにふりがなを振っております。

- 1、フォークリフトの移動とともに歩きながら操縦するフォークリフトをオーダーピッキングフォークリフトという。
- 2、フォークリフトの荷役能力の比較の目的のために定義される荷重を定格荷重という。
- 3、ガソリンエンジンはディーゼルエンジンにくらべ熱効率が良くなっている。
- 4、バッテリーの端子を外すときは、(一)側から先に外し、取り付けるときは最後にアースを付けるのがよい。
- 5、公道を走行する場合は、自動車運転免許を持っていても荷を積載して走行できない。
- 6、油圧装置は、パスカルの原理を応用したものである。
- 7、積み荷をいっばいに上げた状態でフォークリフトから少しの時間離れた。
- 8、給油口にストレーナのあるものは、ストレーナを付けたまま給油しない。
- 9、冷却水のタンクのキャップを水温の高いときに開けると、熱湯が噴き出すことがある。
- 10、フォークリフトの走行時はフォークを地上から30～40cmに下げた状態で走行する。
- 11、長尺物を運搬するときは、荷の端が浮き上がったりしないようゆっくり走行すること。
- 12、フォークにワイヤを掛けての吊り上げ作業をしてもよい。
- 13、物体の質量は大きさが同じであれば、密度が変わっても変化しない。
- 14、スピードを上げて曲がった方が遠心力は働きにくいので安全である。
- 15、物体に荷重をかけると、その外力とつり合うために物体の内部に生ずる力を応力という。
- 16、ひずみは元の形状に戻るものと戻らないものがある。
- 17、事業者は、運転中のフォークリフト又はその荷に接触することにより、労働者に危険が生ずるおそれのある箇所には、労働者を立ち入らせてはならない。
- 18、フォークリフトは、作業開始前に点検を行わなければならないが、この点検は、フォークリフト運転技能講習修了者が行ってもよい。
- 19、技能講習修了者が氏名を変更したので、書替えの手続きを行った。
- 20、事業者は、フォークリフトを用いて作業を行うときは、乗車席以外の箇所に労働者を乗せてはならない。

- (1、×) (2、○) (3、×) (4、○) (5、○)
(6、○) (7、×) (8、×) (9、○) (10、×)
(11、○) (12、×) (13、×) (14、×) (15、○)
(16、○) (17、○) (18、○) (19、○) (20、○)